

重要

当院をご利用の皆様にお願い

～新型コロナウイルス感染対策について～

受診希望者の方へ

⚠ 当院では新型コロナウイルス感染に疑われる方の外来診療は行っておりません

当院は透析や妊娠で通院される方が大勢いる施設であることから、**新型コロナウイルス感染に疑われる方の外来診療は行っておりません**。新型コロナウイルスの感染が疑われる以下の方は、**直接受診する前に、必ず最寄りの帰国者・接触者相談センターに電話で相談し、指示を受けていただきますよう、よろしくお願いいたします。**

まずは相談!! ①～⑤に該当する方は直接受診する前に必ず、**帰国者・接触者相談センター**にご連絡をお願いいたします。

●お問い合わせ先

帰国者・接触者相談センター 静岡県東部保健所

時間内 TEL090-7038-4727 (月～金)8時30分～17時15分

時間外 TEL090-3309-6707 上記時間以外

- ①発症前14日以内に感染症患者と接触があった方
- ②発症前14日以内に感染症の流行地域への渡航歴がある方
- ③一般の方で下記症状が該当する方
発熱やせき・息切れ、強いだるさ(倦怠感)などの症状が発症から**4日以上経過している方**
- ④高齢者・妊娠中・基礎疾患*をお抱えの方で下記症状が該当する方
発熱やせき・息切れ、強いだるさ(倦怠感)などの症状が発症から**2日以上経過している方**
- ⑤経過日数にかかわらず強い倦怠感、息苦しさ、呼吸困難感、水分摂取不良又は尿量減少等の**重症化の徴候**がある方

*基礎疾患とは(糖尿病・心不全・呼吸器疾患・腎障害・人工透析・化学療法中・免疫抑制剤投与中など)

該当したら、まず連絡!!

面会制限について

⚠ 院内感染を防止する為に、面会を制限させていただきます

現在、入院患者さんへの面会については、**以下の方のみ**とさせていただきます。

【面会が可能な方】

発熱・かぜ症状がないひとで

- ・入院患者さんのご家族で代表者の方のみ(高校生以上)
- ・病院で必要と判断した方(手術当日、面談など)

患者さんはじめ、ご面会のみなさまにはご迷惑やご不便をお掛けして申し訳ありませんが、院内感染予防の為、ご理解・ご協力をお願いいたします。

院内感染防止について

院内では手指消毒・マスクの着用をお願いいたします。

面会の際、マスクは事前に準備の上、ご来院いただきますようお願いいたします。病院でお渡することは出来ませんのでご了承ください。

今後の対策について

また、今回の対策につきましては、3月末時点のものであり、今後の流行次第では変更させていただくことがございます。最新情報につきましては随時当院ホームページにて発信させていただきますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

聖隷沼津病院 院長

聖隷沼津病院

せいの通信

4

2020 April No.206



臨床工学室

当院では、透析センターや手術室を中心に、受診される皆さんが安心して検査や手術、治療を受けられるよう、国家資格をもつ14名の臨床工学技士が、高度な医療機器の管理を毎日行っています。**2020年度新卒2名入職!!**

臨床工学技士

- 人工透析装置の取り扱い(腎不全患者に対する血液浄化)
- 手術室での手術用機器の管理・監視・操作
- その他病棟における人工呼吸器・心臓ペースメーカー等の取り扱い
- 外来の検査医療機器の管理 など
院内にある医療機器を扱う仕事しています。

✦手術室にて✦

整形外科を中心に、外科・呼吸器外科・脳神経外科などの領域の手術においての管理・監視・操作に携わっています。

心がけていること



私たちは、病院内で医療機器の保守・管理を任される存在です。手術が安全に行われるよう事前に機器を管理し、手術中は患者さんにつけているさまざまな機器が正常に動いているか目を光らせています。

患者さんやそのご家族が安心して治療を続けられるよう、高度医療機器のスペシャリストとして、多職種連携をしていきます。

✦人工透析室内機械室にて✦

人工透析が必要な患者さんは、週3回、1回に3～5時間ほど人工透析をしなければなりません。臨床工学技士は機械を管理するだけでなく患者さんに寄り添う時間を大切にしています。

私たちは、患者さんと直接的なやりとりが少ない職種ですが、日々患者さんの安心、安全につながるよう努めています。ご入院中に、医療機器のことで気になることがありましたらご相談ください。 ※青いユニフォームが目印です。

お問い合わせは下記に遠慮なくご連絡ください。

==== 特に記載がない限り、本紙は2020年3月末時点の内容です。 ====



診療技術部
臨床工学室 室長 榎原直樹



TEL.055-952-1000

FAX.055-952-1001

〒410-8555 沼津市本字松下七反田902-6

http://www.seirei.or.jp/numazu-hp/



当法人は、7月に創立70周年を迎えます。本誌に、感謝メッセージを連載で掲載させていただきます。



シリーズ① (全4回)

法人創立 70周年に寄せて

一般財団法人 芙蓉協会 副理事長

聖隷沼津病院 院長 伊藤 孝

70周年を迎えるにあたり、芙蓉協会をお支えいただいたすべての皆様に感謝申し上げます。

患者さん・ご利用者として病院や健診、在宅サービスなど、当法人のサービスをご利用いただいている皆様、近隣の医療機関や医師会などの団体の皆様、自治体等の行政の皆様、そして日々の運営に関わっていただいている企業の皆様など、多くのご支援、ご協力により私どもが支えられてきたことに厚く御礼申し上げます。

この節目にあたり、当法人を利用してくださるすべての皆様に、質の高いサービスを提供し、芙蓉協会があってよかったとご評価していただけるよう、引き続き努力してまいります。

聖隷沼津病院 職員一同は、「より一層、時代や地域のニーズの変化に的確に対応し、これからも地域に寄り添い続ける身近な病院でありたい」と考えております。

「70周年と私」Memorable Episode

～2004年の出来事～

私は医師として、当法人の病院・健診事業に長く勤めてまいりました。その中で歴史を振り返ると、2004年にイラクで戦闘に巻き込まれ負傷し、左目の治療のため来日したモハマド・ハイサム・サレハ君(当時10歳)を当院で受け入れ、手術を行ったことがなつかしく思い返されます。

当時、国内外で話題となったこの国際的な医療貢献に、同じ病院で働く者として、法人の歴史の1ページに触れられたことは貴重な出来事でした。

【私たちの原点】

当法人の名称である芙蓉の名は、芙蓉病院設立の資金寄附をして頂いたW. H. ダンフォース氏の「富士山の如き高き理想に生きよ」という思いから、「高き理想と地域医療に積極的に貢献することを祈念し、天高くそびえる芙蓉の峰の如く」と名付けられました。